

2009

9

武士道

日本の魂 日本思想の解明

BUSHIDO:

The Soul of Japan

新渡戸稲造著 矢内原忠雄訳 李登輝解題

小児がいまだ母の乳を離れざるに、すに軍物語を繰り返し聞かされた。もし何の痛みに上つて泣けば、母は子供を叱つて「これきの痛みに泣くとは、何の臆病者ぞ。戦場で女の腕を斬り取られたらば、と云す。切腹を命にすれば時はどうする。」と勵ました。——中略>

「勇氣は、義のために行なわれるべきでなければ、徳の中に教えられるに、ほとんど値しない。孔子は「論語」におい、その華の論法に従い、消極的に勇の定義を下し「義を見なまざるは勇なきなり」と説いた。この格言を積極的に言い直せば、「勇とは義が、事となすことなり」とある。あらゆる種類の危険を冒し、一命を賭すべく、死の類に就くべき。これらはいよいよ勇氣と同一視せられ、しかして、武器をとる取敢業においては、かかる衝動的行為——エクスピロパルンで「勇氣の私生児」と言えるもの——が、不意に喝采せられた。しかるに、武士道にありては、死に値せざる事のために死するは「犬死」と賤められた。プラトンは勇氣を定義し、「恐るべきものと恐るべからざるものとを識別することなり」と言つたが、プラトンの名士間、二と云ふは、水戸の義公(徳川光圀1628-1700)も、「戦場に掛け入り討死するはいとやまき業にて、いかなる無下の恥にても、なしらざるべし。生かすべきは生き、死すべき時にのみ死するは、眞の勇とはいはれり」と云つた。

西洋におい、道徳的勇氣と肉体的勇氣との間に立てられた区分は、我が国民の間にありても久し前から認められていた。いかに、武士の少年には「大勇」と「匹夫の勇」とに二つ聞かざりし者があつた。剛毅、不撓不屈、大胆、自若、勇氣等のことば、少年の心に最も容易に訴へられ、かつ実行と模範とによる訓練されるものであつた。少年の間に、幼少から勵ませられたる、いわば最も人氣ある徳であつた。



軟質塩化ビニル製の集大成です。別紙・黄色裏の表裏2頁を参照下さい。

- 特色の要案は下記の通り、
★材料が軟質であるから装着作業が容易。
★防水・防錆の効果が大い。
★歩行者・小児の安全対策に貢献。
★ボルト・ナットの維持費節減効果大。
★品目・規格の品揃えが抜群。
(13品目、規格合計81点、在庫体制完備)

以下は、サービスの訴求点です。
☆25個/小箱(見本単位)の配達体制完備。
新商品は、見本の少量高亮から始り。
但し、送料手回貨少々の御要願。
☆規格表兼価額表(公示価格表)
何かの加工、何かの面、高か?
御判断の便宜と思ひ、少紙面の無理。
☆品質試験・承認願用資料の用意万全。
販路拡大のための必要兵器です。
以上のサービスポイントが戦力になりまはす。

たといは、私の総統時代、中共から絶対的激しい排斥を受け、すなわち、台湾国民も大きく動揺し、そのとき、大局的支援から、もっと大きな判断を打ち出すの、上に立つ者の勢と痛感した。ただ単に台湾を守るといふだけなく、向うが撃つをたら、こちらが撃つ返に徹底的に叩き潰す。その不撤退の決意と正しい判断力と与えくれるのが、「武士道」と私は確信(す)する。「敢為、堅忍の精神」といふは、至りに至るべきこと、「耐忍、忍耐力を保持せよ、本気の勇氣といふのは出てくる」という意味なのです。(李登輝解題)

<上杉謙信は14年間、武田信玄と戦つたが、信玄の死を痛く、「敵中の最も善き者」の失せしことを慟哭した。信玄の国は山国であつて、塩の供給は、東海道の北条氏に仰いでいた。ところが北条氏はこれを禁じた。謙信は信玄の窮状を聞き、書して喜せ曰く、「聞く北条氏、公と困るを助け、これ極め昇進する行為なり。我が公と争うとは、弓箭にありて米塩にあらざる。今以後、米塩を我が国に取れ、「窮乏は命の根なり」と、これは彼の「ローマ人は金をもつて戦わず、鉄をもつて戦ふ」と言ひ、カエサル(古戦ローマ將軍)の言に比し、余りある。>

株式会社 ツルガの 敦賀社長以下の皆さん、
短い間に、よく整備されたと思ひます。
注文文量(大小)により、価格差があります。
これも、TSボルト・ナットキャップの訴求点。
その都度、価格と在庫と御確認下さい。
本企業が、お役に立ちます。
祈念致し。
武蔵敬白